



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA

 JA全農ちば



10月1日(月) 親子農業体験教室を開催
(成田市内の営農技術センターにて)

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。



CONTENTS

食と農を未来へつなぐ JA全農ちばの取組状況

- 生産コストの低減と持続可能な農業の実現に向けて

営農情報

- 園芸野菜 病害虫防除情報
- 果樹(なし) 病害虫防除情報

園芸情報

- 販売経過および情勢

米麦情報

- 米麦情勢

肥料情報

- 稲刈り後の水田管理について

資材情報

- 生分解性マルチについて

お知らせ JAグループ千葉統一広報

- 食と農を未来につなげるキーワード
「国消国産」であることに意味がある

トピックス

- 親子農業体験教室を開催!

食と農を
未来へつなぐ

JA全農ちばの取組状況
肥料農薬事業

生産コストの低減と持続可能な農業の実現に向けて

～予約結集による購買力の発揮とスケールメリットを活かした価格の抑制～
～国内地域資源の活用による肥料の安定供給を目指して～

皆様からの予約結集で 肥料価格引き下げに取り組んでいます！

複数の同様な成分の化成肥料を一つの銘柄に集約することで、大量生産による製造コストの削減と予約の積上げによる大量入札により、肥料価格を抑制します。

化成肥料 8-8-8 正味 20kg 化成肥料 8-8-8	国産化成肥料 14-14-14 正味 20kg 国産化成肥料 14-14-14	化成肥料 17-0-17 正味 20kg 化成肥料 17-0-17	化成肥料 16-16-16 正味 20kg 化成肥料 16-16-16
化成肥料 5-15-15 正味 20kg 化成肥料 5-15-15	化成肥料 14-18-14 正味 20kg 化成肥料 14-18-14	苦土入り化成肥料 10-20-15 正味 20kg 苦土入り化成肥料 10-20-15	苦土入り化成肥料 12-16-14 正味 20kg 苦土入り化成肥料 12-16-14

混合堆肥複合肥料（豚糞や牛糞入り）で 施肥と同時に土作り！

国内地域資源を活用することで、肥料原料の国際情勢に左右されにくい、肥料の安定供給に貢献します。堆肥を活用することで、化学肥料の削減により、「みどりの食料システム戦略」「SDGs」に取り組みます。

エコレット・ちばの恵み

海外市場に影響されにくい
価格が安定

国内未利用資源の活用で**低コスト**

堆肥使用で**地力維持**

Wの効果！

堆肥 × 化成

エコマスターシリーズ

堆肥を約30%配合し、リン酸原料の一部に「亜リン酸」を配合した有機入りペレット肥料。

担い手直送規格「メガ得」で農薬コスト削減！

大型規格によるスケールメリットの創出に加え、受注生産、メーカー工場から生産者への直送等による流通コストの削減により、価格の引き下げを実現。

水稲用一発除草剤

約4ha分の規格にすることで価格を引き下げ。
剤型も粒・豆つぶ・顆粒・楽粒・ジャンボ・フロアブルと豊富なラインナップ。



水稲育苗箱処理剤

40kg規格にすることで価格を引き下げ。
その他、10kg規格の「デカ得」もご用意しています。



園芸剤

園芸農薬においてもメガ得の取扱品目の拡大に取り組んでいます。



**あのバスタに、
担い手直送規格 40Lが登場！**

お得で、使いやすい
10Lの4本セット

多量な作物に薬剤のあり、
いろいろな場所で使える
バスタ規格をこの機会に
農家に提供いたします！

※本規格は、本規格のみの適用です。
※本規格の適用は、本規格のみの適用です。
※本規格の適用は、本規格のみの適用です。
※本規格の適用は、本規格のみの適用です。

葉茎処理除草剤

お馴染みのバスタやラウンドアップを少しでもお得に！
大容量規格をご用意しました。



詳しくは、最寄りのJAにお問い合わせください

1. はじめに

10月は気温は高くなりますが、日照は少なくなる予報です（9月末時点）。病害虫が発生しやすい環境になりますので、圃場を注意深く観察し、早期防除を行いましょう。

また、台風の発生・接近が多くなることも予想されます。気象予報に留意して事前対策を心がけましょう。

2. トマト（コナジラミ類・葉かび病・すすかび病）

(1) コナジラミ類

県内では、オンシツコナジラミ、タバココナジラミが発生します。これらは共通して黄化病ウイルス（ToCV）を、タバココナジラミは黄化葉巻病ウイルス（TYLCV）を媒介します。千葉県による病害虫発生予報第6号（令和5年9月13日発表）では、これら両種および黄化葉巻病の今後の予想発生量が「多」となっています。早めの防除を行いましょう。



タバココナジラミ成虫

○トマト コナジラミ類 防除薬剤

薬剤系統	IRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
マクロライド系	6	アフーム乳剤	2000	収穫前日まで	5回以内
		アグリメック	500～1000		3回以内
ネオニコチノイド系	4 A	ベストガード水溶剤	1000～2000		3回以内
スピノシン系	5	ディアナSC	2500		2回以内
ジアミド系	2 8	ベネピアOD※	2000		3回以内
メタジアミド系	3 0	グレーシア乳剤	2000		2回以内
その他①	9 B	コルト顆粒水和剤	4000		3回以内
その他②	4 C	トランスフォームフロアブル	1000～2000		2回以内

※薬害の可能性があるためアミスター等のQol剤との混用・隣接散布は避ける

3. ねぎ（さび病・べと病・黒斑病）

病害は多湿条件を好むため、降雨前には予防効果、降雨後は治療効果を持つ剤を使用しましょう。また、夜間に霧・もやが発生する時期は病害多発の恐れが高まります。天候に留意しながら防除を行いましょう。

(1) さび病

オレンジ色の隆起した斑点が生じます。一度発生してからでは防除が困難な病害のため、予防主体の防除を行い、病斑が見られたら直ちに治療剤の散布に切り替えましょう。



さび病の病斑

(2) べと病

葉身が黄色くぼやけ、表面にはやがて灰暗色のカビが見られます。さらに進展すると、被害部から葉が折れてしまいます。多湿圃場では被害の急拡大に注意が必要です。



べと病の初期病斑

(3) 黒斑病

葉身に輪紋状の黒色病斑が生じ、やがて被害部から葉が折れてしまいます。多湿環境のほか、樹勢が低下すると発生が助長されます。



黒斑病の病斑

○ねぎ さび病：さ・べと病：べ・黒斑病：黒・防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
べ	40+M5	プロポーズ顆粒水和剤	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療
	4+M3	リドミルゴールドMZ	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療
さ・べ・黒	11	メジャーフロアブル	2000	収穫前日まで	3回以内	予防・治療
		アミスター20フロアブル	2000	収穫3日前まで	4回以内	予防・治療
さ・黒	M7	ペルクート水和剤	2000	収穫30日前まで	3回以内	予防
	3	オンリーワンフロアブル	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療
黒	2	ロブラール水和剤	1000	収穫14日前まで	3回以内	予防・治療

4. 露地野菜（ヨトウムシ類）

例年に比べ、ヨトウムシ類による被害が多く見られます。

ヨトウムシやハスモンヨトウは卵を1か所に200～300個の卵塊で産卵します。孵化した幼虫は、成長するにつれて食害量が増えるため、被害が急速に大きくなります。また、露地作物では生長点を食害されると欠株となってしまうため、特に早期防除が重要な害虫です。

○ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・シロイチモジヨトウ 防除薬剤

薬剤系統	IRAC	薬剤名	登録の有無		
			キャベツ	だいこん	ねぎ
ジアミド系	28	プレバソンフロアブル5	○	○	○
		ベネピアOD	○	○	○
マクロライド系	6	アフーム乳剤	○		○
		アニキ乳剤	○		○
スピノシン系	5	ディアナSC	○	○	○
ピロール系	13	コテツフロアブル	○		○
IGR剤	15	カスケード乳剤	○		○
メタジアミド系	30	グレーシア乳剤	○		○
		プロフレアSC	○	○	○
その他①	UN	プレオフロアブル	○	○	○
その他②	22A	トルネードエースDF	○	○	○
その他③	22B	アクセルフロアブル	○	○	○

【注意！】本表は対象病害虫への適用の有無を示したものです。他の害虫に適用のある薬剤もあるため、希釈倍数や使用時期、使用回数等の詳細な登録内容は、必ず使用前に農薬ラベルを確認しましょう。



ネギのシロイチモジヨトウの被害と幼虫



キャベツのハスモンヨトウ幼虫

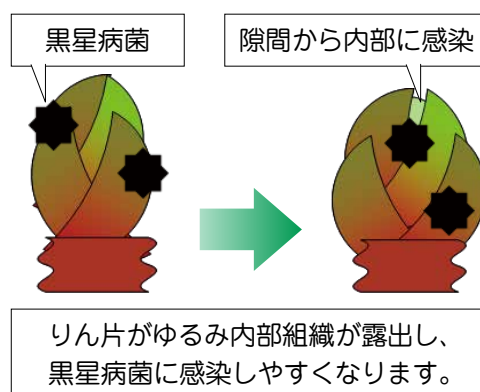
果樹（なし）病害虫防除情報

1. はじめに

黒星病は年間を通した防除が非常に重要な病害です。今秋に残っている黒星病菌は次年度の発生源となりますので、以下の秋防除を徹底しましょう。

2. 秋防除の目的

花芽は9月～12月上旬にかけて、枝の上方から徐々にりん片がゆるみます。降雨があると、葉に残った黒星病菌が雨とともに枝を伝い、ゆるんだ芽に侵入します。ゆるみがピークとなる10月中旬～11月中旬は特に感染しやすい時期となるため、薬剤を散布して感染を防ぎます。



3. 秋防除のポイント

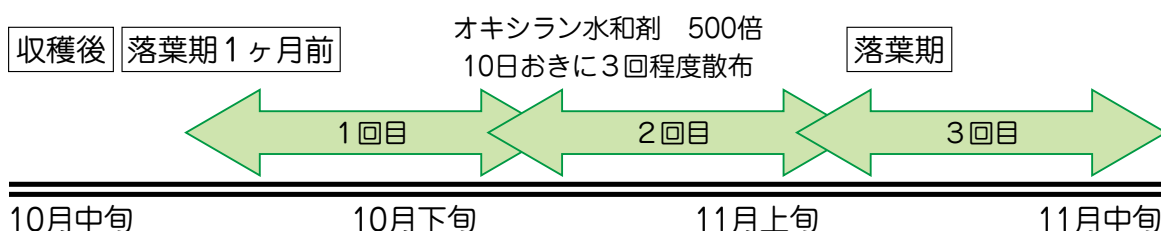
- (1) 落葉期1か月前～落葉期（10月中旬～11月上旬）に10日間隔で2～3回、オキシラン水和剤500倍（収穫3日前／9回以内）を散布して、りん片への黒星病菌の感染を防ぎましょう。

※落葉期の目安は全体の8割が落ちるまでです。

- (2) 散布量は350L／10aを目安に、徒長枝に薬液が十分かかるようにしましょう。

※展着剤アピオンE（2000倍）を加用すると耐雨性を高める効果があります。

- (3) 散布時期について



4. 落葉処理 **落葉は黒星病の伝染源です！園周辺の落葉も処理しましょう！**

落葉を集めて焼却するか、土中に埋めます（胞子の飛散を防止）。ただし、炭そ病は土中に埋めても防除にはなりませんので、炭そ病発生園では確実に持ち出す必要があります。園の外周とネット下部にも落葉が溜まっていることがあります。熊手等で集めて、しっかりと処分しましょう。



園芸情報

販売経過および情勢

青果物 9月の販売経過

9月の気温は、春から続いているとみられるエルニーニョ現象により暖かい空気に覆われ、全国的に気温がかなり高く、1946年の統計開始以降で9月として東・西日本では1位の記録的な高温となりました。降水量は、西日本太平洋側ではかなり少なくなりました。日照時間は、前線や低気圧の影響を受けにくかった、東・西日本太平洋側と太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった沖縄・奄美で多くなりました。

9月の野菜の入荷量は11万691 t（前年比92%）となりました。

主要品目別では、前年が少なかった**ばれいしょ類**（前年比117%）・**オクラ**（前年比157%）などは増加しました。一方、高温・干ばつで生育に影響を受けた**ねぎ**（前年比82%）・**トマト**（前年比85%）・**ほうれんそう**（前年比69%）・**ピーマン類**（前年比81%）などが減少しました。

価格は309円/kgで前年比116%となりました。

たまねぎ・**ばれいしょ類**などは前年を下回りました。一方、**ピーマン類**・**ねぎ**・**ほうれんそう**・**なす**・**トマト**などは前年を上回りました。

9月の果実の入荷量は2万9,956 t（前年比89%）となりました。このうち、国産果実は、前年同月に比べて11%減の2万7,230 t、輸入果実の入荷量は、全体で同年同月に比べて10%減の2,726 tでした。

国産の主要品目別では、高温により生育が前進した**新高**・**極早生みかん**・**シャインマスカット**等は増加となりましたが、前年が少なかった**デラウェア**・**二十世紀**・**つがる**・**もも**等は減少しました。

国産の価格は614円/kg（前年比で116%）となりました。

すいか・**つがる**・**こだますいか**等は前年を上回りましたが、**シャインマスカット**・**くり**等は前年を下回りました。

※数値は何れも東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（9月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	110,691	92	309	116
果 実	29,957	89	584	116

JA全農ちばの販売状況（9月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	6,713	92	407	123	2,732	113
果 実 計	2,119	77	352	113	745	87
ほうれん草	24	42	835	133	20	57
ね ぎ	75	54	753	165	56	90
パ セ リ	4	39	1,707	108	7	42
き ゅ う り	276	85	301	123	83	105
ト マ ト	1,685	99	529	141	892	139
さつまいも	2,780	98	242	101	671	98
さといも	518	110	277	102	143	111
な し	1,828	74	350	110	640	82

10月主要品目

作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品 名	入荷量（t）		単価（円/kg）		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	やや少	17,294	やや高	75	群馬 千葉 茨城	群馬は中旬までは潤沢な出荷、後続の茨城・千葉は高温の影響から増量ペースは鈍く、総体的には前年をやや下回る入荷見込み。価格は前年をやや上回る見込み。
だいこん	やや少	11,499	やや高	99	北海道 青森	北海道・東北は干ばつの影響による出荷減、千葉も猛暑の影響で出回りは鈍い。厳しい販売環境ではあるが、総体的に入荷量が少なく、価格は前年をやや上回る見込み。
にんじん	並	7,506	やや高	172	北海道	北海道は気温の低下や降雨の影響から品質・肥大不足は回復するものの、出荷量は前年並みの見込み。価格は入荷量が少なく、前年をやや上回る見込み。
トマト	並	5,056	並	532	千葉 北海道 福島	東北・北海道の夏秋作、千葉の抑制作ともに高温の影響から前進出荷、花とび等の作柄不良が散見され、入荷量は少なかった前年並みを見込む。価格も前年並みが見込まれる。
きゅうり	やや少	5,188	やや高	368	群馬 埼玉 福島	主力の関東産は正品率が高まり出荷増となるが、東北産は夏場の高温で樹勢が弱く、平年より切上がり早く、総体的には少ない入荷となる見込み。価格は前年をやや上回る見込み。
ねぎ	やや少	5,382	やや高	359	秋田 青森	東北産は中旬以降、稲刈り作業の終了から、出荷量は漸増するものの、高温の影響による作柄不良から、前年を下回る見込み。価格は入荷量の減少によって前年をやや上回る見込み。
ほうれん草	並	1,351	並	606	群馬 茨城 栃木	主産地で露地作が出回りはじめ、中旬以降の出荷量は徐々に増加傾向となり、入荷量は前年並みとなる見込み。価格は前年並みの価格での推移を見込む。
パセリ	やや少	38	やや高	2,407	千葉	高温と台風の影響で生育の遅れが見られ、出荷量は前年を下回る見込み。価格は長野、静岡を含めて総体的に少ないことから、前年を上回る見込み。
さつまいも	やや少	3,048	やや安	297	千葉 茨城	定植後の高温と干ばつの影響により肥大不足が懸念され、出荷量は太物が多かった前年を下回る見込み。総体量は少ないが、気温高の影響から消費が鈍く、前年をやや下回る見込み。

花 販売情勢

◆9月の販売経過【切花】

本年は、昨年同様に酷暑による生育への影響がみられ、主要となる菊類では開花遅延、ユリ類やトルコキキョウでは前進出荷になるなど、需要期にかけて不安定な入荷となる品目が散見されました。

販売については、上旬から品薄感による単価高が続きましたが、第2週後半においては台風7号による店舗の仕入れ控えから荷動きがやや鈍いものとなりました。第3週になると彼岸商戦に向け菊類やリンドウを中心に需要が高まりましたが、少ない入荷が続いたため堅調な販売となり、また、洋花についても連休に向けブライダル関連で動きがよかったため安定した販売となりました。最終週についても、彼岸は明けたものの花き全般で不足感が続いたことから、単価は平年を上回るものとなりました。

◆今後の見通し（11月）【切花】

11月は、高冷地から暖地へと産地が移行する時期となりますが、本年は夏場の猛暑の影響から定植遅れや生育不良が発生している品目も散見され、月前半については不安定な入荷となることが懸念されます。

販売については、不足感が継続すれば月を通して安定した荷動きとなる見込みです。また、第1週目と3週目の週後半には祝日があることから、週末にかけてはブライダル需要が高まり、洋花中心に活発な取引となる見込みです。



◆今後の見通し（11月）【品目別】

品 名	作 柄 お よ び 概 況
ア イ リ ス	新潟を中心に千葉などから出荷。 各産地とも作付面積は概ね平年並みではあるが、定植期の高温から生育への影響が懸念され、例年よりも下位等級の出荷が増える見込み。
カーネーション	千葉・愛知・静岡・長崎などからの出荷。 暖地から徐々に出荷増量となるも、下位等級中心の出荷。国産品は高冷地産からの移行時期となり、輸入品中心の入荷となる見込み。
トルコキキョウ	熊本・福岡・静岡などからの出荷。 夜温が高い日が続くと例年よりも秀品率が下がる傾向。品質不安定となる懸念から入荷量は平年を下回る見込み。 ブライダル需要を中心とした動き。
鉄 砲 ユ リ	高知・岐阜・千葉などからの出荷。 生産量の減少から入荷量は平年を下回り、例年、需要の少ない月ではあるが、不足感から安定した販売となる見込み。

米麦情報

米 麦 情 勢

1. 令和5年産米農産物検査結果について

(1) 全国概況

農林水産省の発表によると、8月31日現在の検査数量は、水稻うるち玄米で246.3千トン、水稻もち玄米は9.6千トン、醸造用玄米は2.4千トンです。水稻うるち玄米の246.3千トンは、同時期の令和4年産の検査数量の113%に相当します。

品質面では、8月31日現在の水稻うるち玄米の1等比率は68.9%と、2等以下に格付けされた主な理由は形質（充実度や心白、腹白等）や着色粒、整粒不足によるものとなります。

9月以降においては、全国的な高温・水不足により特に北陸・東北産地での品質不良が顕著です。

●農産物検査数量：全国（8月31日現在）

（単位：千トン）

種 類 \ 年 産			令和5年産			令和4年産	令和3年産
			対前年 同期比 (%)	対前々年 同期比 (%)			
玄 米	うるち	水 稲	246.3	113.2	122.4	217.6	201.2
		陸 稲	—	—	—	—	—
		醸造用	2.4	246.0	526.9	1.0	0.5
	もち	水 稲	9.6	123.0	157.5	7.8	6.1
		陸 稲	—	—	—	—	—
	計		258.3	114.1	124.3	226.4	207.7

(2) 千葉県概況

8月31日現在の千葉県の検査数量は、水稻うるち玄米で72,990トン、水稻もち玄米で6,147トン、醸造用玄米で86トンです。

水稻うるち玄米の58,313トンは、同時期の令和4年産の検査数量の125.2%に相当し、播種期からの高温と晴天が続いたことにより生育が早まったためと考えられます。

品質面では、8月31日現在の水稻うるち玄米の1等比率は92.7%と、全国（68.9%）と比べて高い比率となっていますが、これは8月中は高温耐性のある「ふさおとめ」検査数量が多いためであると考えられます。

今後は検査が進んでいくにあたり、全国の傾向と同様に、高温障害やカメムシ等の影響を受けた米が出荷されることが推測されるため、徐々に1等比率は下がっていくものと考えられます。

●千葉県農産物検査数量（8月31日現在）

（単位：トン）

種 類 \ 年 産			令和 5年産	対前年 同期比 (%)	対前々年 同期比 (%)	令和 4年産	令和 3年産
玄 米	うるち	水 稲	72,990	125.2	110.8	58,313	65,903
		陸 稲	—	—	—	—	—
		醸造用	86	296.6	307.1	29	28
	もち	水 稲	6,147	113.1	133.0	5,437	4,622
		陸 稲	—	—	—	—	—
	計		79,223	124.2	112.3	63,779	70,553

●千葉県の農産物検査における1等比率（8月31日現在）

農産物検査結果	5年産	4年産	3年産	2年産	元年産
1等比率（%）	92.7	89.2	94.2	94.8	91.9
年産最終	—	86.9	90.2	90.9	83.0

2. 千葉県産麦の安定生産にむけて

10月下旬より令和5年まき麦種子の配布が始まります。令和4年産では、湿害や病害の影響を受け、品質低下や減収となった地域が多く、今一度播種期における麦栽培のポイントをご確認ください。

●播種期における麦栽培のポイント

(1) 排水対策の徹底（播種前）

麦は湿害に弱い作物です。排水溝（明渠）の設置や弾丸暗渠の施工、サブソイラ等を使用した心土破碎を実施しましょう。

(2) 適期播種

「さとのそら」、「カシマムギ」の播種適期は11月上旬～中旬になります。

早すぎると過繁茂による病害発生や倒伏を受けやすくなり、遅すぎると穂数不足等による収量減につながります。

(3) 施肥管理

基肥窒素は6～8kg/10aを施用してください。

※生育状況によって2～4kg/10aの窒素追肥を施用してください。

追肥の施用時期は茎立期約10日前（11月上旬播種で3月上旬）が効果的です。

また、麦への異種穀粒や異物の混入防止、特に重篤なアレルギー症状を引き起こす原因物質となる生産物（そば等）の混入を徹底的に防ぐため、ＪＡグループ千葉は、千葉県麦民間流通推進協議会とともに麦におけるアレルギー混入時の自主ルールを以下のとおり決めました。

千葉県産麦の品質向上、実需者・消費者の信頼を裏切らないためご理解いただき、作付け時にはご留意いただくようお願いします。

●千葉県麦民間流通推進協議会による千葉県産麦自主ルール

1. 原則としてアレルギー品目作付後の圃場での麦生産は認めない。
2. 農産物検査時の格付けにかかわらずアレルギー品目が一粒でも混入していた場合には、民間流通麦として取り扱わず「規格外」として取り扱うこととする。

3. 令和5年産千葉米食味コンクールの開催について

令和4年に引き続き、本年も「コシヒカリ」の部、「粒すけ」の部でコンクールを実施します。生産者の皆さまが真心込めて作った美味しいお米を出品してみませんか。応募締切は10月27日までとなっております。

応募要件は下記のとおりです。

応募期間	令和5年 9月1日(金)～10月27日(金)
対象銘柄	(1) 千葉県産コシヒカリ (2) 千葉県産粒すけ
出品資格	ＪＡ組合員 および 個人情報の開示に同意する生産者
出品基準	・粒選別機の網目幅1.8mm以上で選別された米穀とします。 ・仕上げ水分15.0%以下に調整された米穀とします ・整粒歩合70%以上のものとします。 ・生産履歴記録簿の提出を必須条件とします。
出品方法	・生産者1人1点とします。(1人で2銘柄の応募は受付できません) ・1点につき玄米5kgを提出願います。 ・出品された玄米の返品はありません。
審査	ＪＡ全農ちばの審査結果にもとづき、各部門につき上位4位まで、褒章を授与します。

ご出品は **最寄りのＪＡ** を通じてお願いします。

肥料情報

稲刈り後の水田管理について



翌年の水稻栽培に向けて、
「土づくり」から準備を始めましょう！



ポイント1 稲刈り後の耕うんによる土づくり

稲わらをすき込むことで地力の向上が期待できます。

石灰窒素で稲わらの腐熟を促進させることで、ケイ酸の補給のほか、浮きわらによる田植えの作業性悪化とガス湧きの防止に繋がり、除草剤の効果を十分に発揮させることができます。

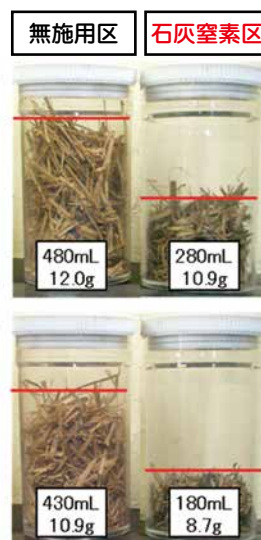


施用量 10～20kg/10a

窒素成分が土壌微生物の増殖を促し、腐熟を促進します。また石灰分が土壌酸性化を防ぎ、土壌微生物が働きやすい環境を維持します。
微生物の活動しやすい気温の高い年内に散布して、5～10cmの浅めにすき込むことが効果的です。

1か月後

2か月後



ポイント2 ケイ酸などの不足しがちな成分の補給による土づくり

水稻でのケイ酸は、次の効果が期待できます。

- ①病害に対する抵抗性を強める。
- ②根張りの環境を改善し、倒伏や秋落ち現象を軽減する。
- ③茎葉を丈夫にし、受光態勢が改善され、登熟歩合の向上や乳白米を軽減する。
- ④水分のムダな蒸散を抑え、干害などによる葉身の老化を防止する。

ケイ酸のほか不足しがちな成分を補給し、次作に向けた土壌環境の改善をしましょう。

詳しい使い方については
最寄りのJAに
お問い合わせください

指定混合肥料 稲サボ



施用量 45～105kg/10a

ケイ酸を8%含有しているほか、高窒素一発肥料で不足するリン酸・加里を補給できます。
牛ふん堆肥を約30%使用。
〈形状：ペレット状〉

けい酸質肥料 農力アップ



施用量 60kg/10a

ケイ酸を20%保証。
鉄やマンガンが硫化水素ガスの発生を抑制し、根腐れによる秋落ち軽減に役立ちます。
〈形状：粒状〉

資材情報

生分解性マルチについて

1. 生分解性マルチとは

生分解性マルチは、土中の微生物の働きにより、水と二酸化炭素に分解される環境にやさしい資材です。



2. 生分解性マルチ導入のメリット

(1) 省力化

収穫後はそのまま土中にすき込むことができるので、マルチのはぎ取り作業から解放されます。また、通常のポリマルチで発生する廃プラスチック処理にかかる土落としやつづら折り作業、運搬の手間がかかりません。

(2) 廃プラスチック処理費の削減

廃プラスチックが出ませんので、廃プラスチック処理料がかかりません。

3. 利用者の声

- (1) マルチをはがす際、ポリマルチだと根が絡むなど重労働だが、生分解性マルチだとすき込むだけなので省力化や廃プラ削減に大きく貢献した。（とうもろこし生産者）
- (2) 次作へのスケジュールがスムーズに行えた。（枝豆生産者）
- (3) 強度もあり、機械展張しても問題なかった。また、作付面積（1 ha以上）が大きいので、ポリマルチ使用時とトータルコストを比較すると、生分解性マルチの方がメリットは大きいと感じた。（レタス生産者）

4. 導入をご検討の際は

生分解性マルチとポリマルチは価格差があるものの、年間を通じた作業体系や労働時間等を考慮し、ご検討いただきたいと思います。

5. 生分解性マルチ利用にあたっての留意事項

- (1) 製品の特性上、長期保管をすることができませんので、メーカーは受注生産で製造します。そのため、ご注文は、使用する2～3か月前が目安となります。
※ メーカー・銘柄により注文時期がさらに早い場合があります。
- (2) 購入後、速やかにご使用ください。また、ご使用までの一時保管には雨や直射日光が当たらない風通しのよい場所をお選びください。
- (3) ポリマルチに比べてやや土壌が乾きやすい特性があります。
- (4) 土壌や気象条件により分解速度が異なります。
- (5) 展張時は、ポリマルチよりテンションを緩めに調整してください。
- (6) 収穫後は、フィルムの飛散防止、分解促進のため2回以上すき込んでください。

お問い合わせは最寄りのJAまたはJA全農ちば資材課(043-245-7379)へご連絡ください

JAグループ千葉統一広報

食と農を未来につなげるキーワード 「国消国産」であることに意味がある

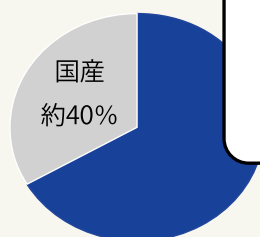
「国消国産」の意義

「国消国産」とは「国」民が必要とし、「消」費する食料はできるだけその「国」で生「産」する、2021年にJAグループが提唱したキーメッセージであり、10月16日は「国消国産」の日として日本記念日協会に登録されました。

日本は食料の多くを外国からの輸入に依存

令和4年度の日本の食料自給率（カロリーベース）は38%であり、依然として約6割は外国からの輸入に依存しています。食料自給率の低迷の背景には食生活の変化が影響しており、米の消費が減少傾向である一方で、輸入割合が高い肉類や油脂類の消費は増加傾向にあります。

（参考：農林水産省「令和4年度食料自給率・食料自給力指標について」）



普段食べているもので
外国からの輸入割合
約60%

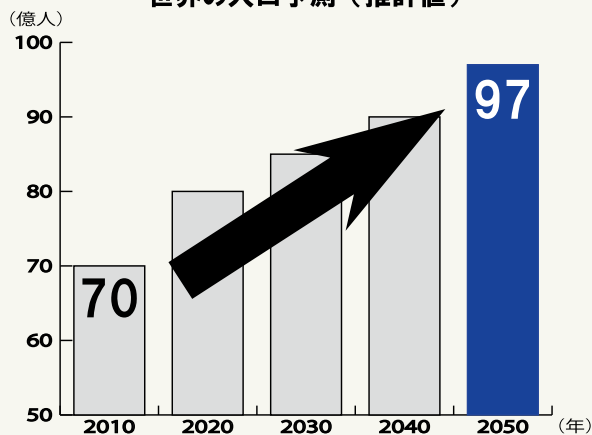
参考：農林水産省「令和4年度食料自給率・食料自給力指標について」

2050年、世界の人口は約100億人に 食料安全保障を見つめ直すタイミング

世界では人口増加・経済発展を背景に、2050年の世界の食料需要量は2010年と比べて、1.7倍となる見通しです。国によっては人口増加等により食料需要が生産を上回るため、自国の輸出制限や外国からの輸入増加の可能性があります。このため、日本が今までどおりに海外から輸入できる保証はありません。たとえ輸入ができたとしても、高値で取引せざるを得なくなり、誰もが購入できるものではなくなるかもしれません。このような不測の事態でも全ての人が安心・安全な食料を手に入れられるようにする、つまり「食料安全保障」を強化するためには過度に外国からの輸入に依存することなく、平時から国内での農畜産物の生産が必要となるのです。

（参考：農林水産省「2050年における世界の食料需給見通し～世界の超長期食料需給予測システムによる予測結果」）

世界の人口予測（推計値）



参考：国連「世界人口推計2022年版」

生産者と消費者が「国産」というブランドを作る

消費者が安心して「国消」するには、生産者による「国産」が必要です。しかし、日本の農業を取り巻く環境は相次ぐ自然災害、生産資材の高止まり、農業従事者の減少・高齢化等により厳しい状況が続いています。消費をする人たちが国産農畜産物を優先して購入してくれること、そして国内の農畜産物の生産者が消費者の期待に応えること、どちらかが欠けては、日本の「食」と「農」を未来につなげることはできませんので、私たちJAグループは「国消国産」を訴えます。



TOPICS

親子農業体験教室を開催！

ＪＡ全農ちばは10月1日（日）、成田市内の営農技術センターにおいて「親子農業体験教室」を開催しました。

今年度は、ＪＡ全農ちばがアシストスポンサーとして応援している「ジェフユナイテッド市原・千葉」のスクール所属の親子、20組40名が参加しました。この企画は、日頃農業に接する機会が少ない子どもたちに農業体験を通じて農業や食に対する関心や興味を深めてもらうことを目的としています。



参加者は、さつまいもと落花生を収穫し、土に触れながら実りの喜びを体験。そのほか、さつまいも重さ比べ大会も行い、子どもも大人も珍しい体験に夢中の様子でした。

午後には、牛乳、生クリーム等を使ってアイスクリーム作りを体験。牛や牛乳に関する豆知識や、さつまいもと落花生を中心に千葉県で多く生産されている品目等についても学習しました。

さらに、生産現場の厳しい現状を説明し、沢山食べて生産者を応援してほしいことを伝えました。



参加した子どもたちは、収穫を楽しみつつも「農家さんの大変さを感じた。国産のものを沢山食べたい」と生産者への応援の気持ちを口にしました。保護者は「内容が充実しており、また参加したい。地元のスーパーで子どもと一緒に千葉県産を意識して探してみる」と目を細め、収穫した農産物とともに楽しい思い出を持ち帰りました。引き続きＪＡ全農ちばは、食育活動に取り組んでまいります。

参加賞
新米「粒すけ」
2 kg

JA全農インターネット通販

千葉県産農畜産物のご贈答・お取り寄せなら

JAタウン JA全農ちば 愛情いちばん館

／ほんの一例です／ 主な取扱商品

JAタウン“JA全農ちば 愛情いちばん館”では、産地自慢の「ちばの味」を全国へ産地直送でお届けしています。贈り物やご自宅用に是非ご利用ください。

JAかとり シルクスイート 4kg

シルクのように滑らかな舌触りでしっとり甘いサツマイモ。掘り立て直後でも甘い焼き芋になり、貯蔵するとさらにしっとりとした焼き芋に変身します。10月1日～11月末日までの国消国産キャンペーン期間中はお客様の送料負担無し価格でお買い求め頂けます！（キャンペーンは規定数量に達し次第終了します。予めご了承ください。）



国消国産
キャンペーン
実施中



JAタウン「JA全農ちば 愛情いちばん館」ショップ

野菜・果物・お肉・農産物加工品・海の幸・お花等様々な商品を取り揃えております。

※御電話での注文は承っておりません、ご了承ください。

<https://www.ja-town.com/shop/c/c3401/>



愛情いちばん館HP

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会
千葉県本部 園芸部
園芸直販課
TEL 043-245-2911

共同購入 第3弾 **生産者&JA**

共同購入コンバイン 開発中!!

全国の生産者の需要結集にむけ、購入意向を確認する取り組みを実施し、**2,500件を上回る購入したいという声をいただきました。**
本取り組みにおける「生産者の皆様の期待の声」を低価格実現につなげていきます。令和6年1月以降の製品発表をご期待ください。

令和4年4月から7月
全国7千件以上の生産者アンケートおよび稲作生産者との意見交換

令和4年9月
国内メーカーへの開発要求

令和5年7月まで
購入意向の確認

令和6年1月以降
製品と価格のご案内

令和6年4月以降
出荷開始(予定)

共同購入は、協同組合らしい取り組みだと考える。JAグループ一丸となって低価格を実現して欲しい。

稲作農家の経営は厳しい状況が続いているなか、農機関連への出費を抑えることができる共同購入はありがたい。

現在5条刈90馬力のコンバインを2台所有している。経営規模拡大にともない、4条50馬力の購入を検討しており、本取り組みに期待している。

経営規模は6haで、コンバインは4条を使用している。共同購入機を購入し機体更新することで、可能な限り農業を続けたい。

私の地域では、山間部も多く、5条以上の大きな機械が入らない地域もある。4条刈は山間部でも対応できる適切な大きさである。

共同購入コンバインに対する期待の声

共同購入コンバイン(イメージ)

要求した主な機能

4条刈50馬力クラス

- 車体水平制御
- 幅広クローラ
- 刈取オートクラッチ
- 掻き込みベダル・スイッチ
- オーガ自動制御(旋回、収納)
- 大型後方ミラー(左右)
- 1日作業可能な燃料タンク(概ね6時間程度を想定)

Q 農業機械の共同購入とは?

A JAグループで生産者の需要をとりまとめ、全農が生産者の代理人として一括発注・仕入をおこなうことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。共同購入型式として選定された機械はどなたでも購入いただけます。

JAグループ / 全農

10/19(木) 20(金) 21(土)

9:00~15:00

※10/21は、14:00まで

第48回 農業機械大展示会 開催!

場所
ロングウッドステーション
(長生郡長柄町山之郷67-1)

詳しくはこちら

<https://www.zennoh.or.jp/cb/topics/2023/96992.html>

お知らせ

J全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る個人情報の取り扱いについて

組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

JA全農が提供するラジオ番組

Tokyofm Life time audio 80.0

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN 13:00~13:55 毎週(土) 生放送
全国の農畜産物をプレゼントします。

未来つなぐお祭りパワート 15:50~16:00 毎週(土)
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

SCHOOL OF LOCK! THURSDAY 23:00 23:00~23:06 毎週(土)
農業について一緒に楽しく学びましょう。

農業部

